

## 気候情報

# 2004年10月の日本の天候

## 台風2個が上陸、東・西日本で多雨

### 10月の天気概況

大陸からの高気圧に覆われて全国的に晴れる時期もあったが長続きしなかった。台風や秋雨前線の影響を受けやすかったため曇りや雨の日が多く、降水量は北海道などで平年を下回ったが、東日本や西日本を中心に平年を大きく上回った。

上旬末には台風第22号が伊豆半島付近に、また中旬末には台風第23号が四国地方に相次いで上陸して各地で大雨や暴風となった。さらに下旬後半は台風第24号が南西諸島に接近した後、温帯低気圧にかかわって本州南岸を東進したため太平洋側を中心に天気がくずれた。

**上旬：**秋雨前線が日本付近に停滞しやすく曇りや雨のところが多かった。気温は全国的に平年より高かったが、北寄りの風が入りやすかった東北地方の太平洋側から関東地方にかけてと南西諸島では気温が平年より低くなったところが多かった。また、旬末には台風第22号が伊豆半島付近に上陸したあと北東進したため、東海～東北地方を中心に暴風雨となり降水量も多くなった。**旬平均気温**は、南西諸島で低く、東日本で平年並のほかは高かった。**旬降水量**は、南西諸島で少なく、北日本日本海側と西日本太平洋側で平年並であったほかは多かった。**旬日照時間**は、全国で少なかった。

**中旬：**前半は東日本の南岸に秋雨前線が停滞し、東北地方の太平洋側から関東地方を中心に曇りや雨の日が多かった。後半は全国的に高気圧に覆われ晴れる日が多くなったが長続きせず、旬末には台風第23号が北上して四国に上陸したため全国的に大荒れの天気になった。**旬平均気温**は、北日本で高く、南西諸島で低かったほかは平年並だった。**旬降水量**は、北日本日本海側で少なく、北日本太平洋側で平年並であったほかは多かった。**旬日照時間**は、北日本太平洋側で少なく、北日本日本海側、東日本太平洋側及び南西諸島で平年並であったほかは多かった。

**下旬：**北日本では天気は数日の周期で変化した。東日本以西は大陸からの高気圧に覆われ晴れる日が多かったが、後半は台風第24号が南西諸島に接近したあと温帯低気圧にかかわって本州南岸を東進するなど太平洋側を中心に曇りや雨の日が多くなった。**旬平均気温**は、全国平年並であった。**旬降水量**は、北・東日本日本海側と南西諸島で少なく北日本太平洋側で平年並であったほかは多かった。**旬日照時間**は、東・西日本太平洋側で少なく南西諸島で多かったほかは平年並であった。

### 10月の気候統計

**平均気温：**東北地方から関東地方にかけての太平洋側と南西諸島の一部を除いて、平年を上回ったところが多く、北海道の一部などでは平年を1℃以上上回った。父島（東京都）では10月の月平均気温の最高値を更新した。

**降水量：**東日本と西日本を中心に平年を大きく上回り、東北地方南部から東海地方にかけてと西日本の一部で月降水量が平年の300%以上となり、特に、静岡では平年の557%、甲府（山梨県）では543%、東京では478%となった。また、東京、長野、大阪など32地点で10月の月降水量の最大値を更新した。

一方、北海道では平年を大きく下回り平年の40%以下のところがあった。羽幌、雄武、紋別（いずれも北海道）では月降水量の最小値を更新した。

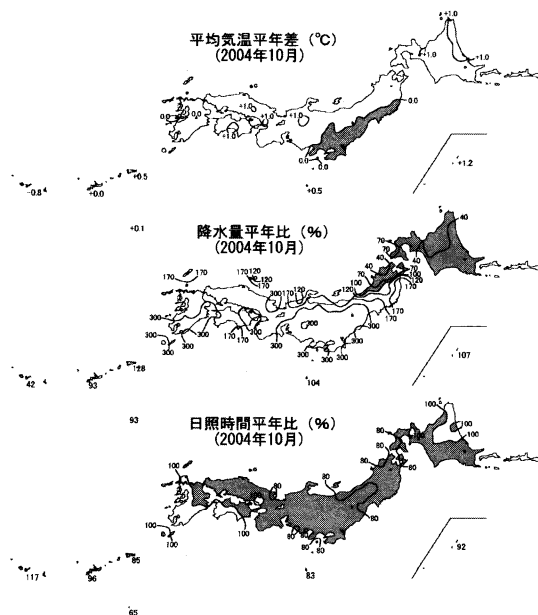
**日照時間：**北海道の一部と西日本の太平洋側を除いて平年を下回り、東北地方では平年の80%以下となったところがあった。

（気象庁観測部統計室）

### 10月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温の高い方から（℃）  
父島 27.2
- ・月降水量の多い方から（mm）  
福島 407.5 東京 780.0 長野 319.0  
大阪 356.0 など、計32地点
- ・月降水量の少ない方から（mm）  
羽幌 67.0 雄武 23.0 紋別 20.0

### 2004年10月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す